

## カーボンオフセット

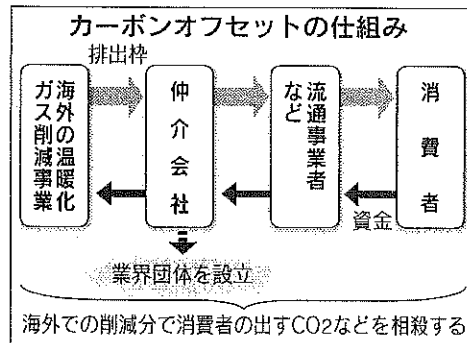
二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を自主的に削減するカーボンオフセットの信頼性を確保するため、排出枠を販売する企業九社が業界団体「カーボンオフセット協会」を設立した。共同でオフセットの仕組みの理解を促す活動をするほか、オフセットの指針を独自に定め、消費者の納得を得やすい仕組みづくりに取り組む。

カーボンオフセットは消費者や企業が自ら排出するCO<sub>2</sub>を排出枠の購入などで相殺し、自主的にCO<sub>2</sub>排出の削減を進める仕組み。昨年以降、カーボンオフセットの仕

## 信頼確保へ業界団体設立

組みを付けた商品は買い物袋や旅行、はがきなどに広がっている。排出枠の購入額が末端の価格に上乗せされる商品、サービスもある。

ただ、相殺の対象が明確でないことが多く、目に見えないオフセットの価値に疑問を感じる消費



## 排出枠販売の9社

者は多い。カーボンオフセット協会はセミナーや勉強会を開催するほか、独自のホームページなどを通じてカーボンオフセットへの啓蒙(けいもう)活動に積極的に取り組む。

二日の設立総会には排出枠を仲介販売するシーコンシャス(東京・渋谷)や日本カーボンオフセット(同・港)、リサイクルワン(同・渋谷)など九社が参加し、会長にシーコンシャスの井手敏和代表取締役を選出した。

オフセット商品を販売する流通事業者や商社、金融機関などにも共同での普及活動への参加を呼びかける。